安岡正篤 **陽明学者。**<戦時>下に新官僚の支持を得、無位無冠を通し、<敗戦>後も政財官界指導者に影響し続けた。

やすおかまさひろ

子規句歌革新1898 = 大阪市で、堀田喜一の四男に生れた。

日露戦争終・1905 = 7歳： **幼少より四書五経の素読を受け、**
「大学」などは小学校時にすべて暗誦。

韓国反日暴動1907 = **9歳**：

韓国併合・・・1910 = 12歳：府立四条畷中学校に入学、

明治天皇没・1912 = 14歳： **剣道部主将として活躍する一方、漢詩・陽明学・禅の師の影響を受けて、東洋思想の基本を理解。**

21ヶ条要求・1915 = 17歳：安岡家の嗣養子となる。

民本主義・・・1916 = **18歳**：第一高等学校に入学。

第一次大正内閣・1919 = 21歳： **東京帝国大学法学部政治科に入学。**

原敬首相暗殺1921 = 23歳：安岡婦美と結婚。この頃、社会教育研究所に参加。

水平社結成・1922 = 24歳： **{日本及日本人}に「白蓮青松何処に在りや」を掲載、感服した村上素道老師がわざわざ自宅に訪問してきた。「王陽明研究」を出版。東京帝国大学を卒業し、文部省に奉職するも1ヶ月で辞職。以後、職に就かず。社会教育研究所の後身の大学寮で当時のデモクラシー思潮に対抗して日本主義を主張する講義を行う。北一輝・大川周明を知る。亜細亜文化研究所を設立し、{東洋思想研究}を発刊、単独執筆をする。**

関東大震災・1923 = 25歳： **海軍大将八代六郎氏が論争の結果弟子になる。**

護憲三派圧勝1924 = 26歳：「日本精神の研究」を出版。{行地社}に参加したが、

治安維持法・1925 = **27歳**：脱退し、**「青少年の精神教化運動」を志して、酒井忠正らの援助により{金鶏学院}を創立し、**

金融恐慌・・・1927 = 29歳： **開院した。**

世界恐慌・・・1929 = 31歳：「東洋倫理概論」を出版。

満州事変・・・1931 = 33歳： **日本農士学校を開校。**

五一五事件・1932 = 34歳：「東洋政治哲学」を出版。***日本精神による政教の維新を唱えて{国維会}を結成、新官僚の本山と目された。**

国際連盟脱退1933 = 35歳： **篤農協会を設立。**

帝人疑獄事件1934 = **36歳**：

二二六事件・1936 = 38歳：「童心残筆」「漢詩読本」を出版。

日中戦争始・1937 = 39歳： **吉川英治らと{心交協会}を設立し、{週刊太陽}を発刊。**

健保+総動員 1938 = 40歳：「為政三部書」を出版。諸国観察のため、半年間世界旅行。

大政翼賛会・1940 = 42歳： **山本五十六海軍次官に、英米を敵とすることの不可を進言。**

日米開戦・・・1941 = 43歳：

・・・1942 = 44歳：「世界の旅」を出版。**{興亜学会}を設立し、戦時下に於ける有志の切磋琢磨を図る。**

創価学会検挙1943 = **45歳**： **発禁となった中野正剛の朝日の「戦時宰相論」に応じて、読売に「山鹿流政治論」を書く。**

年金+総武装 1944 = 46歳：「経世瑣言(全)」を出版。**小磯内閣の強い要請で大東亜省顧問に就任。**

敗戦・・・1945 = 47歳： **「終戦時の"玉音放送"の原案に朱を入れた。公職追放となる。国家主義者として逮捕されそうになるが、蒋介石がマッカーサーに打電して免れる。**

新憲法公布・1946 = 48歳：「百朝集」「老荘思想」を出版。**{金鶏学院}は財産没収となったが、日本農士学校には使用許可が出た。**

極東裁判判決・1948 = 50歳：「漢詩と人間学」「政治家と実践哲学」を出版。

三大事件・・・1949 = 51歳： **有志の強い要望により{師友会}を設立。**

独立回復・・・1951 = 53歳： **吉田首相と会談。公職追放が解除され、**

M-デ-事件・1952 = **54歳**：「日本の父母に」を出版。

TV放送始・・・1953 = 55歳： **台湾を訪問して大歓迎を受ける。**

自衛隊発足・1954 = 56歳： **師友会が全国師友協会となる。**

国連加盟・・・1956 = 58歳：「副論語」を出版。

なべ底不況・1957 = 59歳：「興亡秘話」を出版。

イスタターメ・1958 = 60歳： **右翼団体の連合組織新日本協議会を創立。「曉鐘」を出版し、**

美智子妃・・・1959 = 61歳：「東洋思想と人物」を出版。**_NHKで以降4年間ラジオ放送される。**

安保闘争・・・1960 = 62歳：「易学入門」を出版。

タイタイ病始・1961 = **63歳**： **池田首相渡米に際して、ケネディ大統領との会談について相談を受ける。**

全国総合計画1962 = 64歳：「朝の論語」を出版。

いざなぎ景気1966 = 68歳： **佐藤首相渡米に際して、ジョンソン大統領との会談について相談を受ける。**

全共闘ピーク・1969 = 71歳：成人教学研修所を設立。

大阪万博・・・1970 = **72歳**：郷学研修所を設立。

石油ショック1973 = 75歳：「伝習録」を出版。

革新大敗北・1979 = **81歳**： **会合で出会った実業家兼占術家の某女と意気投合し、婚約誓約書を渡すに至ったという。まもなく、*体調を崩して入院。「昭和」の次の年号として「平成」案を政府に提出して、**

ディズニーランド 1983 = 85歳： **没した。**

岸信介、佐藤栄作を中心とする長栄会、蒋介石、三島由紀夫をはじめ、政財官界指導者に影響を与えた。

致知出版「安岡正篤・人と思想」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、